

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|---|
| 科目名 | PA Basic(1) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 西海 英志 須藤 浩 原嶋 紘平 杉田 達矢 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 90 (6単位) | |
| 教員の略歴 | PAエンジニアとして活動 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 実践を通じ、PAエンジニアとして必要になる基礎的な機材知識、信号の流れ、電気について、機材のセッティングからサウンドチェック・ライブ本番・撤収までの流れを理解する。 | | | | | |
| 到達目標 | 信号の流れを理解し、簡易PAセットを組めるようになる | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 自己紹介(コミュニケーション)/マイクスタンド立て/機材の扱いを学ぶ | レポート |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | マイクスタンドを立て、マイクヘッド付けを学ぶ/分解して組み立てる事で仕組みを学ぶ | 前週内容の復習 |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | コネクターの種類を学ぶ/簡易セットに使用する機材を学ぶ | 前週内容の復習 |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | 基本的な簡易セットの設営・チェック・撤去を学ぶ | 前週内容の復習 |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | EQ/マルチを追加した簡易セットの設営・チェック・撤去を学ぶ | 前週内容の復習 |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | イベント内容を理解し、シミュレーションする | 前週内容の復習 |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | 機材リセットについて理解する | 前週内容の復習 |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | ステージモニターとエフェクターを追加した簡易セットの設営・チェック・撤去を学ぶ | 前週内容の復習 |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | 簡易セットを組む > 1~4週目の復習 | 前週内容の復習 |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | 搬入・仕込み・リハーサル・本番・撤去について学ぶ 他のセクションの動きを意識する | 前週内容の復習 |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | 少人数で設置・チェック・撤去する | 前週内容の復習 |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | マルチウェイスピーカーを学ぶ | 前週内容の復習 |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | 試験 | 前週内容の復習 |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ | レポートの提出 |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ | レポートの提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 音が流れる仕組みを理解し、その理由を考える | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|--------------|---|
| 科目名 | PA Basic(2) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 西海 英志 須藤 浩 原嶋 紘平 杉田 達矢 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 120 (8単位) | |
| 教員の略歴 | PAエンジニア/オペレーターとして活動 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 実践を通じ、PAエンジニアとして必要になる基礎的な機材知識、信号の流れ、電気について、機材のセッティングからサウンドチェック・ライブ本番・撤収までの流れを理解する。 | | | | | |
| 到達目標 | 学内ライブにて、バンドのライブ本番のPAオペレートを行えるようになる。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-----------------------|-------------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | ハウスミキサー・モニター・ステージに分かれて設置を学ぶ | レポート |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | 学校所有のデジタル卓、他の卓を理解し、設置方法を学ぶ | 前週内容の復習 |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | 学校所有のデジタル卓、他の卓を理解し、使い方を知る | 前週内容の復習 |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | 学校所有のワイヤレスマイクについて学ぶ | 前週内容の復習 |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | スピーカーチューニング(技法)を学ぶ | 前週内容の復習 |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | エフェクター・ダイナミック系の設営を学ぶ | 前週内容の復習 |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | サウンドチェックの流れを学ぶ (ライブ本番実習の為のプレ授業) | 前週内容の復習 |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | バンド(Vo+Gt+Ba+Dr+Key)のサウンドチェック・本番を学ぶ | 前週内容の復習 |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | イベントに向けてプラン組みを実践 | 前週内容の復習 |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | イベントに向けてのシステムチェックの実践 | 前週内容の復習 |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | イベントの本番・撤収作業を通じて、音響スタッフとして現場力を身に付ける | 前週内容の復習 |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | イベントの本番・撤収作業を通じて、音響スタッフとして現場力を身に付ける | 前週内容の復習 |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | 試験 | 前週内容の復習 |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ | レポートの提出 |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ | レポートの提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | 音が流れる仕組みを理解し、その理由を考える | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | 照明概論(1) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 林之弘 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 照明実務経験40年、日本照明家協会1級技能士、 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける ②照明概論 ③現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。 | | | | | | |
| 到達目標 | 舞台照明に関する基礎知識を習得し、学校の機材名、役割がわかる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|------------------|-------|-------|--|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明 | レポート |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | すぐに必要な専門用語/脚立の安全に使用できる | レポート |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | 機材知識1 フラッドライト、スポットライトが理解できる | レポート |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | 機材知識2 プロファイルスポット、ノンレンズスポット、バーライトが理解できる | レポート |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | 機材知識3 ムービングライト、効果機が理解できる | レポート |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | 電球、フィルター、ゴボ、ケーブル知識①が理解できる | レポート |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | 公演が行われる場の人たちが理解できる | レポート |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | 舞台における照明の仕事が理解できる | レポート |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | 照明実務1 中間公演に向けて・公演準備(持ち物・上演台本)ができる | レポート |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | 照明実務2 仕込み図を読む/中間公演を題材に図面を読解できる | レポート |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | 照明実務3 ピンスポット・フォロー/中間公演を題材に基本動作ができる | レポート |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | 前期まとめテスト | レポート |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | 前期内容について理解を深める | レポート |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践(中間公演)を通して舞台照明を学ぶ | レポート |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践(中間公演)を通して舞台照明を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | 教室外でも一人で進められる調査研究を時間外学習として進めます。 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| iPad版 ステージ舞台照明入門 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | 照明概論(2) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 林 之弘 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | 照明実務経験40年、日本照明家協会1級技能士、 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける ②照明概論 ③現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。 | | | | | | |
| 到達目標 | 学校機材の準備ができるよう仕込み図の理解と機材の扱い方がわかる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|------------------|--------|-------|---------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | 舞台照明の仕事って何？ | レポート |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | 安全管理Ⅱ 網場と高所作業が理解できる | レポート |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | 電気知識/基礎編が理解できる | レポート |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | ケーブル知識を身につける②が理解できる | レポート |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | 舞台機構と舞台照明設備が理解できる | レポート |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | DMX信号が理解できる | レポート |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | 光と色について理解できる | レポート |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 仕込み図を作ろう/基本仕込みが書ける | レポート |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | 仕込み図を作ろう/応用作図ができる | レポート |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | 後期まとめテスト | レポート |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | 後期・1年履修項目のまとめ 理解を深める | レポート |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | イベントに対するプランニングを理解する | レポート |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | イベントにおける仕込みを理解する | レポート |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM!)を通して舞台照明を学ぶ | レポート |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM!)を通して舞台照明を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | 教室外でも一人で進められる調査研究を時間外学習として進めます。 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 舞台・テレビジョン照明<基礎編> | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|----------------------------------|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | 舞台概論(1) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 飯塚幸之介 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台制作・舞台監督として数々の現場を担当。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 舞台についての基礎を学ぶ スタッフの業務内容を学ぶ | | | | | | |
| 到達目標 | 舞台制作の基礎を身につける 舞台制作に必要な知識を理解する | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|--------------------------|--------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | オリエンテーション 舞台概論とは何かを理解する。 | レポート |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | 劇場・ホールの歴史を理解する。 | レポート |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | 舞台監督の業務内容を理解する | レポート |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | 舞台監督の業務内容を理解する | レポート |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | 学園祭の準備① 役割を決めてチームで仕事をする | レポート、学園祭の資料作成 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | 学園祭の準備① 当日に向けての準備 | レポート、学園祭の資料作成 |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | 劇場・ホールの仕組みを理解する。 | レポート |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | 尺貫法を理解する。舞台美術について学ぶ | 普段使っている物のサイズを測ってみる |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | スタッフの業務内容を理解する | レポート |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | 制作の業務内容を理解する | レポート |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | プロデューサー、イベンターの仕事内容を理解する | レポート |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | 様々な公演スタイルの違いを理解する① | レポート |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 様々な公演スタイルの違いを理解する② | レポート |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ | レポート提出 |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | 舞台概論(2) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 飯塚幸之介 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台制作・舞台監督として数々の現場を担当。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 演出機材の基礎を学ぶ 上演されるものについての基礎を学ぶ スタッフの業務内容を学ぶ 舞台を作り上げていく上での考え方を学ぶ | | | | | | |
| 到達目標 | 舞台を作り上げていく上での考え方を身につける 舞台上演前の準備が出来るようになる 協力して舞台の現場を作る力を身につける | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | 前期を振り返り、後期の目標を立てる | レポート |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | 舞台演出の機材と方法を理解する① | レポート |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | 舞台演出の機材と方法を理解する② | レポート |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | いろいろな図面を理解する | レポート |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | いろいろな楽器と編成を理解する | レポート |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | 映像について理解する① | レポート |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | 映像について理解する① | レポート |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | イベントの理解力を高める | レポート |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | イベントの実践(we are TSM)を通して舞台演出を学ぶ | レポート |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | 演出の方法を理解する | レポート |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | 演習① 課題に対して演出を考え、資料を作っていく | レポート |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | イベントの実践(we are TSM)を通して舞台演出を学ぶ | レポート |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | 演習② 課題に対して演出を考え、資料を作っていく | レポート |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | ビッグバンドコンサートの準備 | レポート、資料作成 |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | ビッグバンドコンサートの準備 | レポート、資料作成 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|---|
| 科目名 | コンサートテクニック(1) Concert PA Technique(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 西海 英志 須藤 浩 原嶋 紘平 杉田 達矢 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 90 (6単位) | |
| 教員の略歴 | PAエンジニア/オペレーターとして活動 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | イベントの1日の流れを把握し、他のセクションとコミュニケーションをとりながら音響だけではなく、他の動きも把握し、イベントによって異なる音響を学ぶ | | | | | |
| 到達目標 | 仕込み・RH・本番・バラシまでに1日の流れの把握・プラン表や当日までの資料作りが出来るようになる | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月18日 | 講義・演習 | ライブ・PA実践、仕込みについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 2 | 5月9日 | 講義・演習 | バンド系イベントのPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 3 | 5月16日 | 講義・演習 | 外部ホールの構造を理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 4 | 5月23日 | 講義・演習 | アイドル系のイベントについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 5 | 5月30日 | 講義・演習 | カラオケ音源のLIVEの実践 外部ホールの本番を理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 6 | 6月6日 | 講義・演習 | 学内イベント 他セクションとのイベントを行う | プラン作り・打ち合わせ |
| 7 | 6月13日 | 講義・演習 | オムニバス形式のライブPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 8 | 6月20日 | 講義・演習 | バンドPAの実践 外部ホールのバラシについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 9 | 6月27日 | 講義・演習 | 制作したプラン図をもとにプレゼンテーションする | プラン作り・打ち合わせ |
| 10 | 7月4日 | 講義・演習 | バンドライブPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 11 | 7月11日 | 講義・演習 | カラオケ音源のLIVE PAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 12 | 7月18日 | 講義・演習 | 演劇音響について理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 13 | 8月22日 | 講義・演習 | アイドルイベントの実践 前期試験 | 前期復習 |
| 14 | 8月29日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ | レポート提出 |
| 15 | 9月5日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ | レポート提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 「伝えること」を目的としたプラン組 ベストな機材選定 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | コンサートテクニック(1) Concert LT Technique(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 川谷祐之 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 90 (6単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台照明プランナー・オペレーターとして活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ただ華やかというだけでなく、他のセクションと密接にかかわり、照明を構成することを理解する | | | | | | |
| 到達目標 | 舞台照明というものを華やかなものと理解しがちだが、ただ華やかなだけでなく、キャストを引き立たせ、観客を喜ばせるために、ソロ・バンド・アイドル・ダンス・ミュージカル等、演目によって魅せ方をかえ、イベントに合った明りを理解できるようにする | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|--------------------------------------|-----------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月18日 | 講義・演習 | 自己紹介～機材・システムツアー 簡単な仕込み実習 | 照明機材仕込み |
| 2 | 5月9日 | 講義・演習 | 照明に携わってみる。人の作った照明を感じる。 | 照明機材仕込み(音テクイベント) |
| 3 | 5月16日 | 講義・演習 | ホールの仕組みを理解する | 資料解読(ホール実習) |
| 4 | 5月23日 | 講義・演習 | 基本知識での照明を作る | 課題曲に対する譜割り(SOON) |
| 5 | 5月30日 | 講義・演習 | ホールで簡単な照明の仕事ができるようになる | 仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習) |
| 6 | 6月6日 | 講義・演習 | 仕込図を描く上で基本的な考え方 照明を考えるとときの基本的な考え方 | 照明機材仕込み |
| 7 | 6月13日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台照明を学ぶ | レポート提出 |
| 8 | 6月20日 | 講義・演習 | ホールで簡単な照明の仕事ができるようになる2 | 仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習) |
| 9 | 6月27日 | 講義・演習 | ホールで簡単な照明の仕事ができるようになる3 | 仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習) |
| 10 | 7月4日 | 講義・演習 | バンドの照明を作る | 課題曲に対する譜割り(プロミlive) |
| 11 | 7月11日 | 講義・演習 | アイドルの照明を作る | 課題曲に対する譜割り(SO.ON) |
| 12 | 7月18日 | 講義・演習 | アニソンの照明を作る | 課題曲に対する譜割り(アクターlive) |
| 13 | 8月22日 | 講義・演習 | より効果的なアイドルの照明を作る | 課題曲に対する譜割り(SO.ON) |
| 14 | 8月29日 | 講義・演習 | 自由に作った照明のダメ出し、作り直し・違いを体感 | 照明機材仕込み・打ち込み |
| 15 | 9月5日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台照明を学ぶ | レポート提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 闇雲に仕込むのではなく、照明効果を意識する | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | コンサートテクニック(1) Concert STAGE Technque(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 井上陽介 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 90 (6単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台監督として活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 舞台制作、進行、演出、施工等を講義と実践的に学び、体験しそれぞれ自分の目的や適合性を考える。現場のシミュレーション体験を通じて社会のルールやマナー、チームワークや厳しさ、楽しさを学ぶ事を目指します。 | | | | | | |
| 到達目標 | 授業を通じて団体行動、情報収集、技術的な能力を身に付け、スキルアップを目指す。また細分化された業種の中から自分に何が合っているかを見つける。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|-----------------------------------|----------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月18日 | 講義・演習 | オリエンテーション、コミュニケーション、注意事項、軽作業、概要説明 | 生徒同士での情報交換、コミュニケーション |
| 2 | 5月9日 | 講義・演習 | 舞台の業務内容、危険回避、事故例などを知り、理解する | 資料の整理、作成 |
| 3 | 5月16日 | 講義・演習 | 資料の作成、過去のイベントの資料整理や確認する | 資料の整理、作成 |
| 4 | 5月23日 | 講義・演習 | 外部ホールの予習、資料作り 舞台の基本を理解する | 資料の整理、作成 |
| 5 | 5月30日 | 講義・演習 | 外部ホール 実際の舞台機構を理解する | 工具や必要品の準備など |
| 6 | 6月6日 | 講義・演習 | 外部ホールの復習し、理解を深める | 課題の確認、不明点の確認など |
| 7 | 6月13日 | 講義・演習 | 外部ホールの課題を確認する | 工具や必要品の準備など |
| 8 | 6月20日 | 講義・演習 | 校内イベントを通して資料を制作する | 資料の整理、作成 |
| 9 | 6月27日 | 講義・演習 | 校内イベントの振り返りし、理解を深める | 課題の確認、不明点の確認など |
| 10 | 7月4日 | 講義・演習 | 外部ホールの予習、資料作り 舞台機構の応用を理解する | 資料の整理、作成 |
| 11 | 7月11日 | 講義・演習 | 外部ホール 実際の舞台での作業をする | 工具や必要品の準備など |
| 12 | 7月18日 | 講義・演習 | 外部ホールの課題確認をし、問題点をあげる | 課題の確認、不明点の確認など |
| 13 | 8月22日 | 講義・演習 | テスト | 課題の確認、不明点の確認など |
| 14 | 8月29日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ | レポート |
| 15 | 9月5日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | 各週授業にのぞむための予習もしくは授業後の復習として取り組むこと | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|---|
| 科目名 | コンサートテクニック(2) Concert PA Technique (2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 西海 英志 須藤 浩 原嶋 紘平 杉田 達矢 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 90 (6単位) | |
| 教員の略歴 | PAエンジニア/オペレーターとして活動 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | イベントの1日の流れを把握し、他のセクションとコミュニケーションをとりながら音響だけではなく、他の動きも把握し、イベントによって異なる音響を学ぶ | | | | | |
| 到達目標 | 仕込み・RH・本番・バラシまでに1日の流れの把握・プラン表や当日までの資料作りが出来るようになる | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|-------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | 次週のシミュレーション・打ち合わせを行う | プラン作り・打ち合わせ |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | 野外イベントにおけるPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | バンドライブのPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | カラオケ音源のLIVE PAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | 仕込みプランの講評を行う | プラン作り・打ち合わせ |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | バンドライブのPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | 外部ホールでのバラシについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | オムニバス形式のライブPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | バンド課題楽曲に対するオペレート①オペ卓を触る | プラン作り・打ち合わせ |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | バンド課題楽曲に対するオペレート②モニター卓を触る | プラン作り・打ち合わせ |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | システムチェックについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | 外部ホールでのダンスPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | 外部ホールにてバンドPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ | レポート提出 |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ | レポート提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | コンサートテクニック(2) Concert LT Technique(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 川谷祐之 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 90 (6単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台照明プランナー・オペレーターとして活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 前期で学んだことに加え、曲に合ったメリハリ、緩急を実際の照明で表現できるようにする | | | | | | |
| 到達目標 | 各イベントに合った照明を作れるようになる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-----------------------|---------------------------------|---------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | 前期で学んだことをすべて盛り込んで照明を作る | 仕込み・譜割り・明り作り(企画イベント) |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | 曲に対する自分のイメージを明りで表現する | 仕込み・譜割り・明り作り(企画イベント) |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | メリハリをつけた照明でショーパッケージに関わる | 仕込み・譜割り・明り作り(企画イベント) |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | メリハリをつけたバンドの照明を作る | 課題曲に対する譜割り(プロミライブ) |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | メリハリをつけたアイドルの照明を作る | 課題曲に対する譜割り(SO.ON) |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | 他セクションと念密な打ち合わせをしショーパッケージを作り上げる | 課題曲に対する譜割り(ワンマンライブRH) |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | 他セクションと念密な打ち合わせをしショーパッケージを作り上げる | 仕込み図解読・明り作り(ワンマンライブ本番) |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | メリハリをつけたアニソン照明を作る | 課題曲に対する譜割り(アクターライブ) |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | ショー全体を考えて、自分の担当部分の照明を構成する | 仕込み・譜割り・明り作り(We areプロミRH) |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | 自由に作った照明のダメ出し、作り直し・違いを体感 | 照明機材仕込み・打ち込み |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | 自由に作った照明のダメ出し、作り直し・違いを体感 | 照明機材仕込み・打ち込み |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | ショー全体を考えて、自分の担当部分の照明を構成する | 仕込み・譜割り・明り作り(We areプロミRH) |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | 個性を盛り込んだ照明でショーパッケージを作る | 仕込み・譜割り・明り作り(アクター卒業公演) |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台照明を学ぶ | 仕込み・譜割り・明り作り(we are準備) |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台照明を学ぶ | 仕込み・譜割り・明り作り(we are準備) |
| 準備学習 時間外学習 | | 闇雲に仕込むのではなく、照明効果を意識する | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | コンサートテクニック(2) Concert STAGE Technique(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 井上 陽介 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 90 (6単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台監督として活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 舞台制作、進行、演出、施工等を講義と実践的に学び、体験しそれぞれ自分の目的や適合性を考える。現場のシミュレーション体験を通じて社会のルールやマナー、チームワークや厳しさ、楽しさを学ぶ事を目指します。 | | | | | | |
| 到達目標 | 授業を通じて団体行動、情報収集、技術的な能力を身に付け、スキルアップを目指す。また細分化された業種の中から自分に何が合っているかを見つける。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|----------------------------------|--------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | 前期の復習 校内イベントに向けたチーム分け | 課題の確認、不明点の確認 |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | 校内イベント資料制作 工具を理解する | 工具や必要品の準備 |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | 校内イベント 実践的に学ぶ | 資料の整理、作成 |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | 校内イベントの振り返りをし問題点を理解する | 課題の確認、不明点の確認 |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | 外部ホール 実際の舞台機構を触る | 工具や必要品の準備 |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | 外部ホールの復習をし、想定される危険を理解する | 課題の確認、不明点の確認 |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | 校内イベントを通して資料制作を行う | 工具や必要品の準備 |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | 校内イベントを実践的に行い個々のレベルを知る | 資料の整理、作成 |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | 校内イベントの反省点をプレゼンテーションする | 課題の確認、不明点の確認 |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | ホール実習の予習、資料作り 舞台の基本を説明できるようにする | 資料の整理、作成 |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | 外部ホール 実際の舞台にて構造を理解する | 工具や必要品の準備など |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | 外部ホールの復習し、演出を考える | 課題の確認、不明点の確認など |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | テスト | 課題の確認、不明点の確認など |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台演出を学ぶ | レポート |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台演出を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | 各週授業にのぞむための予習もしくは授業後の復習として取り組むこと | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | 音響電気知識舞台技能調整技能士(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 小瀬高夫 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | 一級舞台機構調整技能士として活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 音の性質、音響心理、電気基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整 | | | | | | |
| 到達目標 | 簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|--|-------|---------------------------------------|---------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 講師紹介・自己紹介 音について、音はなぜ聞こえるのかを理解する | 本日の予習 |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | 音波の伝播・音場・音速を理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | 周波数・可聴限界周波数・波長・振幅を理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | 音色 オームヘルムホルツの法則 音波の性質を理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | 音波の性質2 音圧・音圧レベル・音量を理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | 騒音 NC値を理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | 音響心理を理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | 半田付け実習1の実践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | 半田付け実習2の実践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | 半田付け実習3の実践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | 半田付け実習4の実践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | 半田付け実習5の実践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | 期末試験(筆記、実技) | 後期の予習、期末試験の準備 |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して電気知識を学ぶ | レポートの提出 |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して電気知識を学ぶ | レポートの提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | 現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| PA入門三訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | 音響電気知識舞台技能調整技能士(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 小瀬高夫 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | 一級舞台機構調整技能士として活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 音の性質、音響心理、電気基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整 | | | | | | |
| 到達目標 | 簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波、電気音響機器の性質を理解して調整ができるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|--|--------|---------------------------------------|--------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | 電気の基礎・オームの法則を理解する | 前期の復習、本日の予習 |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | 電圧や抵抗の合成を理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | スピーカーのシリ・パラ接続を理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | 現場のシミュレーションの実践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | 保安アースとノイズを防ぐアースを理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | 電気音響機器の構造を理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | マイクロフォンの分類を理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | ダイナミックマイクロフォンを理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | コンデンサーマイクロフォンを理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | ワイヤレスマイクロフォン・イヤモニを理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | マイクロフォンを理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | スピーカーを理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | 期末試験(筆記、実技) | 後期の予習、期末試験の準備 |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM!)を通して電気知識を学ぶ | レポートの提出 |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM!)を通して電気知識を学ぶ | レポートの提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | 現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| PA入門三訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | LT Basic(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 藤井直 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | 照明プランナーとして活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 実習を通じて基本を学ぶ。 実際現場で使用されている器材の扱い方や特性の基本を身につける。 舞台は照明だけでは成立することではなく、舞台、音響、出演者、お客様を含む総合芸術の意味を理解する。好き嫌いではなく、やり遂げる力を持つこと。 近年の学生は嫌なことはやらなくてもいいという風潮があるが、好きなことから窓口を広げてゆき、やればできるんだと思うように展開していく。 | | | | | | |
| 到達目標 | 照明をつける、明かりを照らすのではなく、出し物に対してその色や動きに意味をもたせ、その意味や説明ができようになる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 照明の仕事各種を理解できる。 | レポート |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | 舞台照明の基礎知識を理解できる。 | レポート |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | レンズスポット、パーライトの構造を知ることができる。 | レポート |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | プロファイルスポットの構造を知ることができる。 | レポート |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | ケーブルの使い方と種類を知ることができる。 | レポート |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | カラーフィルター、種板、切り方作り方を知ることができる。 | レポート |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | ピンスポットの使い方を知ることができる。 | レポート |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | アクセサリ、スタンド、ハンガーの取り扱いができる。 | レポート |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | 調光とユニット パッチシステムの構造を理解できる。 | レポート |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | 電源のことが理解できる。 | レポート |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | DMX信号線の理屈の理解できる。 | レポート |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | LED SPOTの構造を理解できる。 | レポート |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | テスト | レポート |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台照明を学ぶ | レポート |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台照明を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | 照明効果を意識する | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| ステージ舞台照明入門 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | LT Basic(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 藤井直 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | 照明プランナーとして活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 実習を通じて基本を学ぶ。 実際現場で使用されている器材の扱い方や特性の基本を身につける。 舞台は照明だけでは成立することではなく、舞台、音響、出演者、お客様を含む総合芸術の意味を理解する。好き嫌いではなく、やり遂げる力を持つこと。 近年の学生は嫌なことはやらなくてもいいという風潮があるが、好きなことから窓口を広げてゆき、やればできるんだと思うように展開していく。 | | | | | | |
| 到達目標 | 照明をつける、明かりを照らすのではなく、出し物に対してその色や動きに意味をもたせ、その意味や説明ができようになる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|-------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | 地明かりを理解できる。 | レポート |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | バックの当て方を理解できる。 | レポート |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | ブッチの当て方を理解できる。 | レポート |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | 舞台の効果が理解できる。 | レポート |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | システムの考え方が理解できる。 | レポート |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | 進級展とWE AREの関わりについて理解できる。 | レポート |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | 合同の仕込図における個人のオペレートの意味を理解できる。 | レポート |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 進級展のプランニングを学ぶ。 | レポート |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | 進級展のプランニングを行い、明かり作りを行う。 | レポート |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | 進級展のプランニングを実践できる。 | レポート |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | 音楽イベントの明かり作りを学ぶ。 | レポート |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | 音楽イベントの明かり作りを行い、全体の流れを組む。 | レポート |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | WE ARE TSMの明かり作りを実践できる。 | レポート |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM)を通して舞台照明を学ぶ | レポート |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM)を通して舞台照明を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | 照明効果を意識する | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| ステージ舞台照明入門 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Basicムービング(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 橋本真也 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 現代に於いて必須とも言えるムービングライト、その特性と機能を学ぶ。 | | | | | | |
| 到達目標 | ムービングライトの仕込みが出来る。 グランドMAでの簡単なシーンの作成、修正。 何度も触って、失敗して、機材に慣れる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | 授業の進め方、LS1使用方法、基本的なアクセス | レポート□ |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | ムービングの主な機能を知る。注意事項を知る。仕込み。 | レポート□ |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | 簡単なシーンの作成。卓の主な用語、機能を学ぶ。 | レポート□ |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | シーンの作成。バックアップを学ぶ | レポート□ |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | シーケンスの扱い、タイムを学ぶ | レポート□ |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | 卓の基本的なセットアップを学ぶ | レポート□ |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | 卓の基本的なセットアップを学ぶ | レポート□ |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | 小復習 | レポート□ |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | ムービングライトの基本的なセッティングを学ぶ | レポート□ |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | チェイスの作成、修正を学ぶ | レポート□ |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | キューのリンク、ループを学ぶ | レポート□ |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | プリセットの作成、修正、使用を学ぶ | レポート□ |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | テスト?フェーダー、ボタンの機能変更を学ぶ | レポート□ |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通してムービングの効果的使用方法を学ぶ | レポート□ |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通してムービングの効果的使用方法を学ぶ | レポート□ |
| 準備学習 時間外学習 | | | 基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Basicムービング(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 橋本真也 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 現代に於いて必須とも言えるムービングライト、その特性と機能を学ぶ。 | | | | | | |
| 到達目標 | パッチの変更ができる。 様々な卓で、簡単なムービングの操作ができる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|---|-----------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | パッチ基本を学ぶ | レポート□ |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | エフェクト基本を学ぶ | レポート□ |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | エフェクト続きを学ぶ | レポート□ |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | 仕込みに関してを学ぶ | レポート□ |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | パール、アリーナでの操作を学ぶ | レポート□ |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | GMA1.2onPC操作を学ぶ | レポート□ |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | GrandMA3Dについて学ぶ | レポート□ |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | 小復習 | レポート□ |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | VIEW作成を行う | レポート□ |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | シーケンスの設定関連を学ぶ | レポート□ |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | マトリックス、クイッキーを詳しく学ぶ | レポート□ |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | 明かり作りの実習 | レポート□ |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | テスト、明かり作り実習 | レポート□ |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM!)を通して効果的使用方法を学ぶ | レポート□ |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM!)を通して効果的使用方法を学ぶ | レポート□ |
| 準備学習 時間外学習 | | 基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | VectorWorks Basic(1) LT Basic(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 矢吹百合子 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台美術デザイナー コンサートのセットデザインを中心に活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に付けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。 | | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ■ Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■ 平面図を書けるようになる ■ 測量したものをコンピュータで図面化出来る ■ 劇場設備について理解出来るようになる ■ 図面に描かれていることを理解できる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | 自己紹介～Vectorworksの仕組み・システムの解説から使用方法を理解する | 図面作成/レポート |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | 使用ソフトの基本説明を行い基本の操作方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | 2Dシミュレーションの基本(1) 2Dシミュレーションの基礎の作図方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | 学園祭図面作成(1) 会場測量を行い実物と縮尺の違いを学ぶ | 図面作成/レポート |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | 学園祭図面作成(2) 測量した会場の作図を行う、照明機材のツールを学ぶ | 図面作成/レポート |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | 学園祭図面作成(3)測量した会場の作図を行う ステージ・パトンの書き方照明機材のツールを学ぶ | 図面作成/レポート |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | 劇場の図面作成(1) 劇場の設備を理解する | 図面作成/レポート |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | 劇場の図面作成(2) 実際の劇場図面を作図し劇場機構の仕組みを学ぶ | 図面作成/レポート |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | 製作物のデザインと図面作成(1) 照明機材のツールで簡易図面を書く事ができる | 図面作成/レポート |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | 製作物のデザインと図面作成(2) セットデザインを実際の劇場に当て込み照明の検証し理解する | 図面作成/レポート |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | 図面作成(1) ミュージカルの舞台図面を書き起こす | 図面作成/レポート |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | 図面作成(2) ミュージカルの舞台図面に照明を作図する | 図面作成/レポート |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | 図面作成(3) 舞台図面を仕込み図に変換する方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して作画を学ぶ | レポート |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して作画を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 適宜資料を配布 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | VectorWorks Basic(1) STAGE Basic(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 矢吹百合子 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台美術デザイナー コンサートのセットデザインを中心に活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に付けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。 | | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ■ Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■ 平面図を書けるようになる ■ 測量したものをコンピュータで図面化出来る ■ 劇場設備について理解出来るようになる ■ 図面に描かれていることを理解できる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | 自己紹介～Vectorworksの仕組み・システムの解説から使用方法を理解する | 図面作成/レポート |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | 使用ソフトの基本説明を行い基本の操作方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | 2Dシミュレーションの基本(1) 2Dシミュレーションの基礎の作図方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | 学園祭図面作成(1) 会場測量を行い実物と縮尺の違いを学ぶ | 図面作成/レポート |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | 学園祭図面作成(2) 測量した会場の作図を行う、照明機材のツールを学ぶ | 図面作成/レポート |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | 学園祭図面作成(3)測量した会場の作図を行う ステージ・パトンの書き方照明機材のツールを学ぶ | 図面作成/レポート |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | 劇場の図面作成(1) 劇場の設備を理解する | 図面作成/レポート |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | 劇場の図面作成(2) 実際の劇場図面を作図し劇場機構の仕組みを学ぶ | 図面作成/レポート |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | 製作物のデザインと図面作成(1) 照明機材のツールで簡易図面を書く事ができる | 図面作成/レポート |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | 製作物のデザインと図面作成(2) セットデザインを実際の劇場に当て込み照明の検証し理解する | 図面作成/レポート |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | 図面作成(1) ミュージカルの舞台図面を書き起こす | 図面作成/レポート |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | 図面作成(2) ミュージカルの舞台図面に照明を作図する | 図面作成/レポート |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | 図面作成(3) 舞台図面を仕込み図に変換する方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して作画を学ぶ | レポート |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して作画を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 適宜資料を配布 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | VectorWorks Basic(2) LT Basic(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 矢吹百合子 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台美術デザイナー コンサートのセットデザインを中心に活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 後期は主に、学内イベントの具体的なデータ化と3Dシミュレーションを中心に学習します。 | | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ■デザイン画をコンピュータで描けるようになる ■他者とのデータの共有がスムーズに行える ■3Dデータの作成が出来るようになる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|---|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | ハロウィンの装飾デザイン(1) ハロウィン装飾の照明デザインを考案する | 図面作成/レポート |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | ハロウィンの装飾デザイン(2) ハロウィン装飾の照明を作図し模擬コンペを行う | 図面作成/レポート |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | 3Dシミュレーションの基本(2) 3Dへの変換方法を学び実際に図面を作成する | 図面作成/レポート |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | 3Dシミュレーションのまとめ(1)3Dの見え方を学ぶ 光源による見え方の違いを理解する | 図面作成/レポート |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | 劇場の3D作成(1) 実際の劇場を2Dから3Dに立ち上げる方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | 劇場の3D作成(2) 3D変換された図面の検証方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | 劇場の3D作成(3) 検証結果を基に総合的なイメージを作る | 図面作成/レポート |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | 3Dシミュレーションのまとめ(2) テクスチャ設定を行い説得力のあるレンダリング結果を得る方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | クリスマスの装飾デザイン(1) 2Dでデザインと設計図を作る方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | クリスマスの装飾デザイン(2) 2D→3Dモデリングの編集方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | We are TSMに向けて 装飾デザイン プレゼンボードの作成方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | We are TSMに向けて 図面作成(1) 実際にイベントで使用する劇場の平面図を作図する。 | 図面作成/レポート |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | We are TSMに向けて 図面作成(2) 実際にイベントで使用する仕込み図面を作図する。 | 図面作成/レポート |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して作画を学ぶ | レポート |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して作画を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | VectorWorks Basic(2) STAGE Basic(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 矢吹百合子 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台美術デザイナー コンサートのセットデザインを中心に活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 後期は主に、学内イベントの具体的なデータ化と3Dシミュレーションを中心に学習します。 | | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ■デザイン画をコンピュータで描けるようになる ■他者とのデータの共有がスムーズに行える ■3Dデータの作成が出来るようになる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|---|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | ハロウインの装飾デザイン(1) ハロウイン装飾の照明デザインを考案する | 図面作成/レポート |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | ハロウインの装飾デザイン(2) ハロウイン装飾の照明を作図し模擬コンペを行う | 図面作成/レポート |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | 3Dシミュレーションの基本(2) 3Dへの変換方法を学び実際に図面を作成する | 図面作成/レポート |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | 3Dシミュレーションのまとめ(1)3Dの見え方を学ぶ 光源による見え方の違いを理解する | 図面作成/レポート |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | 劇場の3D作成(1) 実際の劇場を2Dから3Dに立ち上げる方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | 劇場の3D作成(2) 3D変換された図面の検証方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | 劇場の3D作成(3) 検証結果を基に総合的なイメージを作る | 図面作成/レポート |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | 3Dシミュレーションのまとめ(2) テクスチャ設定を行い説得力のあるレンダリング結果を得る方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | クリスマスの装飾デザイン(1) 2Dでデザインと設計図を作る方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | クリスマスの装飾デザイン(2) 2D→3Dモデリングの編集方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | We are TSMに向けて 装飾デザイン プレゼンボードの作成方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | We are TSMに向けて 図面作成(1) 実際にイベントで使用する劇場の平面図を作図する。 | 図面作成/レポート |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | We are TSMに向けて 図面作成(2) 実際にイベントで使用する仕込み図面を作図する。 | 図面作成/レポート |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して作画を学ぶ | レポート |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して作画を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Repair Basic(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 志村昭三 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ロックギターリストとして生活を送り、リペア・ギターテクニシャンとして活動する | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | エレキギター・アコースティックギター・エレキベース、その他の弦楽器に対して何らかのをほどこす事により、よりよい状態にもっていくその技術とノウハウを学習する | | | | | | |
| 到達目標 | プロのリペアマンならびにセットアップ・ギターテクニシャンになるためのスキルを身に付けさせ、自身の技術力を自分で引き上げてゆくやり方を理解させ応用してゆく追求心をつける。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|-------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | 工具の説明(手動工具についての理解) | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | 工具の説明(手動工具についての理解) | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | 工具 取扱説明で工具の理解 | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | ギター各部の役割を理解することができる | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | 各部パーツの取扱を理解することができる | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | ネックの反りとトラスロッドを理解する事ができる | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | ネック反り修正を実践する | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | ネック反り修正を実践する | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | オクターブ調整の役割を理解することができる | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | オクターブ調整の実践する | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | 全体ばらし 組立ての実践 | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | 全体ばらし 組立ての実践 | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 前期試験 | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して演奏を学ぶ | レポート |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して演奏を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | 弦楽器の仕組みを知り、部品について学ぶ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Repair Basic(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 志村昭三 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ロックギターリストとして生活を送り、リペア・ギターテクニシャンとして活動する | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ギター全般における使用材料や、パーツの仕組みを理解させ、リペアに対応する能力を身に付ける | | | | | | |
| 到達目標 | エレトリックギター、エレトリックベース、アコースティックギター、クラシックギター等に使用される木材や各部のパーツの名所や役割などを理解する | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|-----------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | ギターの成り立ちについて | 前期の復習 |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | ギターの成り立ちについて | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | ギター材について | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | ギター材について | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | 各部パーツの役目について | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | 各部パーツの役目について | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | 各部パーツの役目について(ネック編) | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | 各部パーツの役目について(ネック編) | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | 各部パーツの役目について(ボディ編) | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | 各部パーツの役目について(ボディ編) | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | 各部パーツの役目について(コントロール編) | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | 各部パーツの役目について(コントロール編) | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | 各部パーツの役目について(コントロール編)/後期テスト | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM)を通してリペアマンの現場を学ぶ | レポート |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM)を通してリペアマンの現場を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | 前期で学んだ事を生かし、自分の持っている楽器をリペアしてみる | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | 楽器/機材知識(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 北英樹 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台監督・楽器テクニシャンとして活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ①様々な楽器の基礎知識についての講義及び実技 ②音楽が存在する科目全てに関連している ③楽器に興味を持ち授業に於いて基礎知識 様々な楽器の名称・構造・特徴・形・音色・セッティング方法・音の出し方等を習得する | | | | | | |
| 到達目標 | 音楽業界に就職する上で必ず必要になる楽器の知識を身につけ、細部にわたる機材名称 構造等を身につけ答えられる様になる。楽器は大切に愛情を持って丁寧に扱うことができる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---------------------------|-------|-------|--|----------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月19日 | 講義・演習 | オリエンテーション 楽器の種類 楽器の特徴を理解する | 授業日と授業時間を把握する |
| 2 | 5月10日 | 講義・演習 | 楽器の種類 楽器の特徴を述べられるようになる | 楽器の種類 楽器の特徴を調べる |
| 3 | 5月17日 | 講義・演習 | DRUMSについて理解する | DRUMSとは何か調べる |
| 4 | 5月24日 | 講義・演習 | BassDrumについて理解する | BassDrumとは何か調べる |
| 5 | 5月31日 | 講義・演習 | SnareDrumについて理解する | SnareDrumとは何か調べる |
| 6 | 6月7日 | 講義・演習 | Hi-HATについて理解する | Hi-HATとは何か調べる |
| 7 | 6月14日 | 講義・演習 | Hi-HATStandについて理解する | Hi-HATStandとは何か調べる |
| 8 | 6月21日 | 講義・演習 | 3点とFloorTomについて理解する | 3点とFloorTomとは何か調べる |
| 9 | 6月28日 | 講義・演習 | Tom Tomについて理解する | Tom Tomとは何か調べる |
| 10 | 7月5日 | 講義・演習 | Cymbalについて理解する | Cymbalとは何か調べる |
| 11 | 7月12日 | 講義・演習 | DRUMS全体のセッティングについて理解する | DRUM全体のセッティングとは何か調べる |
| 12 | 7月19日 | 講義・演習 | DRUMSのメンテナンスについて理解する | DRUM全体のメンテナンスとは何か調べる |
| 13 | 8月23日 | 講義・演習 | 前期テスト | レポート提出 |
| 14 | 8月30日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通してテックを学ぶ | レポート提出 |
| 15 | 9月6日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通してテックを学ぶ | レポート提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 教材 学内に有る 全ての 楽器を使用して授業を行う | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | 楽器/機材知識(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 北英樹 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台監督・楽器テクニシャンとして活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ①様々な楽器の基礎知識についての講義及び実技 ②音楽が存在する科目全てに関連している ③楽器に興味を持ち授業に於いて基礎知識 様々な楽器の名称・構造・特徴・形・音色・セッティング方法・音の出し方等を習得する | | | | | | |
| 到達目標 | 音楽業界に就職する上で必ず必要になる楽器の知識を身につけ、細部にわたる機材名称 構造等を身につけ、答えられる様になる。楽器は大切に愛情を持って丁寧に扱うことができる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---------------------------|--------|-------|--|-------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月4日 | 講義・演習 | 電気について理解する | 電気について調べる |
| 2 | 10月11日 | 講義・演習 | 弦楽器について理解する | 弦楽器について調べる |
| 3 | 10月18日 | 講義・演習 | GUITERについて理解する | GUITERについて調べる |
| 4 | 10月25日 | 講義・演習 | BASSIについて理解する | BASSIについて調べる |
| 5 | 11月1日 | 講義・演習 | AMPIについて理解する | GUITERT・BASS AMPについて調べる |
| 6 | 11月8日 | 講義・演習 | トランジスターAMP について理解する | トランジスターAMP について調べる |
| 7 | 11月15日 | 講義・演習 | 真空管AMPについて理解する | 真空管AMPについて調べる |
| 8 | 11月22日 | 講義・演習 | 鍵盤楽器について理解する | 鍵盤楽器について調べる |
| 9 | 11月29日 | 講義・演習 | 鍵盤楽器アコースティックについて理解する | 鍵盤楽器アコースティックについて調べる |
| 10 | 12月6日 | 講義・演習 | 鍵盤電気楽器について理解する | 鍵盤電気楽器について調べる |
| 11 | 12月13日 | 講義・演習 | 複数の鍵盤楽器のセッティングについて理解する | 鍵盤電気楽器の種類について調べる |
| 12 | 12月20日 | 講義・演習 | 多く楽器の特徴について理解する | 全ての楽器の種類について調べる |
| 13 | 1月10日 | 講義・演習 | 後期テスト | レポート |
| 14 | 1月17日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM!)を通してテックを学ぶ | レポート |
| 15 | 1月31日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM!)を通してテックを学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | 準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 教材 学内に有る 全ての 楽器を使用して授業を行う | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|--------------|---|
| 科目名 | PA Advance(3) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 西海 英志 須藤 浩 原嶋 紘平 杉田 達矢 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 120 (8単位) | |
| 教員の略歴 | PAエンジニア/オペレーターとして活動 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 実践を通じ、PAエンジニアとして必要になる基礎的な機材知識、信号の流れ、電気について、 機材のセッティングからサウンドチェック・ライブ本番・撤収までの流れを理解した上で、応用に対応する | | | | | |
| 到達目標 | 学内ライブにて、バンドのライブ本番のPAオペレートを行えるようになる | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|-----------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | モニターシステムを学ぶ | レポート |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | 空間系エフェクターを学び、操作できるようになる | 前週内容の復習 |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | ダイナミック系エフェクターを学び、操作できるようになる | 前週内容の復習 |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | デジタルオーディオを学ぶ | 前週内容の復習 |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | デジタルミキサーのオペレートを出来るようになる | 前週内容の復習 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | イベント内容を理解し、シミュレーションする | 前週内容の復習 |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | 機材リセットについて理解する | 前週内容の復習 |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | デジタルミキサーのオペレートを出来るようになる | 前週内容の復習 |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | 効率の良い積み方を学ぶ | 前週内容の復習 |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | 限られた機材でプランを立て実践する | 前週内容の復習 |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | 野外現場を想定した特殊な設営を学習する | 前週内容の復習 |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | ワイヤレスについて深く学ぶ | 前週内容の復習 |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 試験 | 前週内容の復習 |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ | レポートの提出 |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ | レポートの提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 音が流れる仕組みを理解し、その理由を考える | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|--------------|---|
| 科目名 | PA Advance(4) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 西海 英志 須藤 浩 原嶋 紘平 杉田 達矢 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 120 (8単位) | |
| 教員の略歴 | PAエンジニア/オペレーターとして活動 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 実践を通じ、PAエンジニアとして必要になる基礎的な機材知識、信号の流れ、電気について、 機材のセッティングからサウンドチェック・ライブ本番・撤収までの流れを理解した上で、応用に対応する | | | | | |
| 到達目標 | 学内ライブにて、バンドのライブ本番のPAオペレートを行えるようになる | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | | |
|----------------|--------|-----------------------|--|------------------|--|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) | |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | 音響機材におけるPC等のネットワークオーディオについて学ぶ | レポート | |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | ラインアレイ、ドルビーレイクを学ぶ | 前週内容の復習 | |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | リアルタイムアナライザーを使用し、音場測定を学ぶ | 前週内容の復習 | |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | Vo+Bandのモニターを学ぶ | 前週内容の復習 | |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | ライブ本番を想定したRHを行う | 前週内容の復習 | |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | イベントのセクション決め、内容確認をし、理解する | 前週内容の復習 | |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | セクションに分かれたプラン組を学ぶ | 前週内容の復習 | |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | セクションに分かれた仕組みを学ぶ | 前週内容の復習 | |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | イベントに向けてシステムチェックを理解する | 前週内容の復習 | |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | 搬入・仕込み・リハーサル・本番・撤去について学ぶ 他のセクションの動きを意識する | 前週内容の復習 | |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | イベントの仕込み、本番、撤収作業を通じて、 音響スタッフとしての現場力を身に付ける | 前週内容の復習 | |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | イベントの仕込み、本番、撤収作業を通じて、 音響スタッフとしての現場力を身に付ける | 前週内容の復習 | |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | 試験 | 前週内容の復習 | |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ | レポート提出 | |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ | レポート提出 | |
| 準備学習 時間外学習 | | 音が流れる仕組みを理解し、その理由を考える | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | LT Advance(3) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 藤井直 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | 照明プランナーとして活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 数多くの照明プランを作成して、LS-1では思ったことを表現できるようにする。依頼を受けた内容に対して客感的な対応ができるように引き出しを多く作り上げる。トラブルも数多く経験させる。社会にも通じる話術の構築 | | | | | | |
| 到達目標 | 照明の仕込み図 打ち合わせ 仕込み あかり作り オペレート 撤去までの一連の流れの理解ができる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|--------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | グループの中での個人の意識を知ることができる。 | レポート |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | 与えられた物への解釈が理解できる。 | レポート |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | 仕事へのとらえ方を理解できる。 | レポート |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | 器材の台数、リストを把握できる。 | レポート |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | メンテナンスの方法を習得できる。 | レポート |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | メンテナンスの方法を実践する。 | レポート |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | シーンとキッカケの修正を学ぶ。 | レポート |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | シーンとキッカケの修正を習得できる。 | レポート |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | シーンとキッカケの修正を実践する。 | レポート |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | チームでプラン作り上げる 回路図の作成を行う | レポート |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | チームでプラン作り上げる 図面への落とし込み | レポート |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | チームでプラン作り上げる 仕込みをする | レポート |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | テスト | レポート |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台照明を学ぶ | レポート |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台照明を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | 照明効果を意識する | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| ステージ舞台照明入門 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | LT Advance(4) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 藤井直 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | 照明プランナーとして活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 数多くの照明プランを作成して、LS-1では思ったことを表現できるようにする。依頼を受けた内容に対して客感的な対応ができるように引き出しを多く作り上げる。トラブルも数多く経験させる。ホールの規模によりLS-1の感覚とは異なることを感じることを。場所により多種多様な考え方があることを認識させる。 | | | | | | |
| 到達目標 | 照明の仕込み図 打ち合わせ 仕込み あかり作り オペレート 撤去までの一連の流れがチーフとして理解して、行動できる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|-------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | 他の人が作ったプランニングの評価を行う。 | レポート |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | 自らがつけた他のプランニングの評価に修正を入れること | レポート |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | 自らのプランニングへの修正を聞き、再構築お行う。 | レポート |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | プランニングの評価と修正ができる。 | レポート |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | 器材メンテナンスの実践ができる。 | レポート |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | PCでの仕込図の書き方を理解できる。 | レポート |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | 音楽イベントプランニングの基本を実践できる。 | レポート |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 音楽イベントに向けてのチーム編成を考察できる。 | レポート |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | 音楽イベントに向けてのシステムを考察する。 | レポート |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | 音楽イベントに向けて仕込図を作る。 | レポート |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | 音楽イベントの明かり作りを実際に仕込む。 | レポート |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | 音楽イベントの明かり作りへの修正を行う。 | レポート |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | 音楽イベントの明かり作りを実践する。 | レポート |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM)を通して舞台照明を学ぶ | レポート |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM)を通して舞台照明を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | 照明効果を意識する | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| ステージ舞台照明入門 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|----------------------------------|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | 舞台概論(3) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 飯塚幸之介 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台制作・舞台監督として数々の現場を担当。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 舞台についての基礎を学ぶ スタッフの業務内容を学ぶ | | | | | | |
| 到達目標 | 舞台制作の基礎を身につける 舞台制作に必要な知識を理解する | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---------------------------|--------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月19日 | 講義・演習 | オリエンテーション 舞台概論とは何かを理解する。 | レポート |
| 2 | 5月10日 | 講義・演習 | 劇場・ホールの歴史を理解する。 | レポート |
| 3 | 5月17日 | 講義・演習 | 舞台監督の業務内容を理解する | レポート |
| 4 | 5月24日 | 講義・演習 | 舞台監督の業務内容を理解する | レポート |
| 5 | 5月31日 | 講義・演習 | 学園祭の準備① 役割を決めてチームで仕事をする | レポート、学園祭の資料作成 |
| 6 | 6月7日 | 講義・演習 | 学園祭の準備① 当日に向けての準備 | レポート、学園祭の資料作成 |
| 7 | 6月14日 | 講義・演習 | 劇場・ホールの仕組みを理解する。 | レポート |
| 8 | 6月21日 | 講義・演習 | 尺貫法を理解する。舞台美術について学ぶ | 普段使っている物のサイズを測ってみる |
| 9 | 6月28日 | 講義・演習 | スタッフの業務内容を理解する | レポート |
| 10 | 7月5日 | 講義・演習 | 制作の業務内容を理解する | レポート |
| 11 | 7月12日 | 講義・演習 | プロデューサー、イベンターの仕事を理解する | レポート |
| 12 | 7月19日 | 講義・演習 | 様々な公演スタイルの違いを理解する① | レポート |
| 13 | 8月23日 | 講義・演習 | 様々な公演スタイルの違いを理解する② | レポート |
| 14 | 8月30日 | 講義・演習 | イベントの実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ | レポート |
| 15 | 9月6日 | 講義・演習 | イベントの実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | 舞台概論(4) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 飯塚幸之介 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台制作・舞台監督として数々の現場を担当。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 演出機材の基礎を学ぶ 上演されるものについての基礎を学ぶ スタッフの業務内容を学ぶ 舞台を作り上げていく上での考え方を学ぶ | | | | | | |
| 到達目標 | 舞台を作り上げていく上での考え方を身につける 舞台上演前の準備が出来るようになる 協力して舞台の現場を作る力を身につける | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月4日 | 講義・演習 | 前期を振り返り、後期の目標を立てる | レポート |
| 2 | 10月11日 | 講義・演習 | 舞台演出の機材と方法を理解する① | レポート |
| 3 | 10月18日 | 講義・演習 | 舞台演出の機材と方法を理解する② | レポート |
| 4 | 10月25日 | 講義・演習 | いろいろな図面を理解する | レポート |
| 5 | 11月1日 | 講義・演習 | いろいろな楽器と編成を理解する | レポート |
| 6 | 11月8日 | 講義・演習 | 映像について理解する① | レポート |
| 7 | 11月15日 | 講義・演習 | 映像について理解する① | レポート |
| 8 | 11月22日 | 講義・演習 | イベントの理解力を高める | レポート |
| 9 | 11月29日 | 講義・演習 | イベントの実践(we are TSM)を通して舞台演出を学ぶ | レポート |
| 10 | 12月6日 | 講義・演習 | 演出の方法を理解する | レポート |
| 11 | 12月13日 | 講義・演習 | 演習① 課題に対して演出を考え、資料を作っていく | レポート |
| 12 | 12月20日 | 講義・演習 | イベントの実践(we are TSM)を通して舞台演出を学ぶ | レポート |
| 13 | 1月10日 | 講義・演習 | 演習② 課題に対して演出を考え、資料を作っていく | レポート |
| 14 | 1月17日 | 講義・演習 | ビッグバンドコンサートの準備 | レポート、資料作成 |
| 15 | 1月31日 | 講義・演習 | ビッグバンドコンサートの準備 | レポート、資料作成 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | 音響電気知識舞台技能調整技能士(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 小瀬高夫 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | 一級舞台機構調整技能士として活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 音の性質、音響心理、電気的基础、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整。 | | | | | | |
| 到達目標 | 3級舞台機構調整技能士(厚生労働省)取得できる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|--|-------|---------------------------------------|---------------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月22日 | 講義・演習 | 授業の進め方・教科書・3級舞台機構調整技能士の理解 | シラバス、教科書、確認しておく事。 |
| 2 | 4月29日 | 講義・演習 | H31筆記試験解答解説・実技実習を实践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 3 | 5月13日 | 講義・演習 | H30筆記試験解答解説・実技実習を实践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 4 | 5月20日 | 講義・演習 | H29筆記試験解答解説・実技実習を实践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 5 | 5月27日 | 講義・演習 | H28筆記試験解答解説・実技実習を实践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 6 | 6月3日 | 講義・演習 | H27筆記試験解答解説・実技実習を实践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 7 | 6月10日 | 講義・演習 | H26筆記試験解答解説・実技実習の实践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 8 | 6月17日 | 講義・演習 | H25筆記試験解答解説・実技実習の实践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 9 | 6月24日 | 講義・演習 | H24筆記試験解答解説・実技実習の实践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 10 | 7月1日 | 講義・演習 | H23筆記試験解答解説・実技実習の实践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 11 | 7月8日 | 講義・演習 | H22筆記試験解答解説・実技実習の实践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 12 | 7月15日 | 講義・演習 | H21筆記試験解答解説・実技実習の实践 | 先週の復習、本日の予習 |
| 13 | 8月26日 | 講義・演習 | 期末試験(筆記、実技) | 前期の復習、期末試験の準備 |
| 14 | 9月2日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して電気知識を学ぶ | レポートの提出 |
| 15 | 9月9日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して電気知識を学ぶ | レポートの提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | 現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| PA入門三訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | 音響電気知識舞台技能調整技能士(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 小瀬高夫 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 一級舞台機構調整技能士として活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整。 | | | | | | |
| 到達目標 | 簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波、電気音響機器の性質を理解して調整ができるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|--|--------|-------|---------------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月7日 | 講義・演習 | スピーカーを理解する | 前期の復習、本日の予習 |
| 2 | 10月14日 | 講義・演習 | ダイナミックスピーカーの動作原理・構造を理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 3 | 10月21日 | 講義・演習 | エンクロージャーを理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 4 | 10月28日 | 講義・演習 | スピーカーシステムを理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 5 | 11月4日 | 講義・演習 | ディバイディングネットワークを理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 6 | 11月18日 | 講義・演習 | プロセッサを理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 7 | 11月25日 | 講義・演習 | コンソール1を理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 8 | 12月2日 | 講義・演習 | コンソール2を理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 9 | 12月9日 | 講義・演習 | コンソール3を理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 10 | 12月16日 | 講義・演習 | モニ・モニとデジタルコンソールを理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 11 | 1月13日 | 講義・演習 | エフェクター1を理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 12 | 1月20日 | 講義・演習 | エフェクター2を理解する | 先週の復習、本日の予習 |
| 13 | 2月3日 | 講義・演習 | 期末試験(筆記、実技) | 後期の予習、期末試験の準備 |
| 14 | 2月10日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM!)を通して電気知識を学ぶ | レポートの提出 |
| 15 | 2月17日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM!)を通して電気知識を学ぶ | レポートの提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| PA入門三訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|---------------|---|
| 科目名 | コンサートテクニック(3) Concert PA Technique(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 西海 英志 須藤 浩 原嶋 紘平 杉田 達矢 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 150 (10単位) | |
| 教員の略歴 | PAエンジニア/オペレーターとして活動 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | イベントの1日の流れを把握し、他のセクションとコミュニケーションをとりながら音響だけではなく、他の動きも把握し、イベントによって異なる音響を学ぶ | | | | | |
| 到達目標 | 仕込み・RH・本番・バラシまでに1日の流れの把握・プラン表や当日までの資料作りが出来るようになる | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月18日 | 講義・演習 | ライブ・PA実践、仕込みについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 2 | 5月9日 | 講義・演習 | バンド系イベントのPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 3 | 5月16日 | 講義・演習 | 外部ホールの構造を理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 4 | 5月23日 | 講義・演習 | アイドル系のイベントについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 5 | 5月30日 | 講義・演習 | カラオケ音源のLIVEの実践 外部ホールの本番を理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 6 | 6月6日 | 講義・演習 | 学内イベント 他セクションとのイベントを行う | プラン作り・打ち合わせ |
| 7 | 6月13日 | 講義・演習 | オムニバス形式のライブPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 8 | 6月20日 | 講義・演習 | バンドPAの実践 外部ホールのバラシについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 9 | 6月27日 | 講義・演習 | 制作したプラン図をもとにプレゼンテーションする | プラン作り・打ち合わせ |
| 10 | 7月4日 | 講義・演習 | バンドライブPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 11 | 7月11日 | 講義・演習 | カラオケ音源のLIVE PAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 12 | 7月18日 | 講義・演習 | 演劇音響について理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 13 | 8月22日 | 講義・演習 | アイドルイベントの実践 前期試験 | 前期復習 |
| 14 | 8月29日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ | レポート提出 |
| 15 | 9月5日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ | レポート提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|---------------|------|------|
| 科目名 | コンサートテクニック(3) Concert LT Technique(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 川谷祐之 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 150 (10単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台照明プランナー・オペレーターとして活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ただ自分の作りたい照明を作るのではなく、色々な立場に立って照明を作れるようにする | | | | | | |
| 到達目標 | 多くの観客が納得し、各イベントに合った照明を作れるようになる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|--------------------------------------|--------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月18日 | 講義・演習 | 自己紹介～機材・システム案内～簡単な仕込み指導 | 照明機材仕込み |
| 2 | 5月9日 | 講義・演習 | 後輩を指導し自分たちのやりたい照明を作る | 照明機材仕込み・明かり打ち込み(音テクイベント) |
| 3 | 5月16日 | 講義・演習 | ホールの仕組みを理解する | 資料解読(ホール実習) |
| 4 | 5月23日 | 講義・演習 | 技術を盛り込みアイドルの照明を作る | 課題曲に対する譜割り(SOON) |
| 5 | 5月30日 | 講義・演習 | ホールで他セクションとコミュニケーションをとり照明の仕事をする① | 仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習) |
| 6 | 6月6日 | 講義・演習 | 仕込図を描く上で基本的な考え方 照明を考えるとときの基本的な考え方 | 照明機材仕込み |
| 7 | 6月13日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台照明を学ぶ | レポート提出 |
| 8 | 6月20日 | 講義・演習 | ホールで他セクションとコミュニケーションをとり照明の仕事をする② | 仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習) |
| 9 | 6月27日 | 講義・演習 | ホールで他セクションとコミュニケーションをとり照明の仕事をする③ | 仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習) |
| 10 | 7月4日 | 講義・演習 | 「観せる」という観点でバンドの照明を作る | 課題曲に対する譜割り(プロミlive) |
| 11 | 7月11日 | 講義・演習 | 「観せる」という観点でアイドルの照明を作る | 課題曲に対する譜割り(SO.ON) |
| 12 | 7月18日 | 講義・演習 | 「観せる」という観点でアニソンの照明を作る | 課題曲に対する譜割り(アクターlive) |
| 13 | 8月22日 | 講義・演習 | 求められたものに答え、かつ自分の表現も盛り込んだアイドルの照明を作る | 課題曲に対する譜割り(SO.ON) |
| 14 | 8月29日 | 講義・演習 | 自由に作った照明のダメ出し、作り直し・違いを体感 | 照明機材仕込み・打ち込み |
| 15 | 9月5日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台照明を学ぶ | レポート提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 闇雲に仕込むのではなく、照明効果を意識する | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | コンサートテクニック(3) Concert STAGE Technique(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 井上陽介 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 90 (6単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台監督として活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 舞台制作、進行、演出、施工等を講義と実践的に学び、体験しそれぞれ自分の目的や適合性を考える。現場のシミュレーション体験を通じて社会のルールやマナー、チームワークや厳しさ、楽しさを学ぶ事を目指します。 | | | | | | |
| 到達目標 | 授業を通じて団体行動、情報収集、技術的な能力を身に付け、スキルアップを目指す。また細分化された業種の中から自分に何が合っているかを見つける。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|-----------------------------------|----------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月18日 | 講義・演習 | オリエンテーション、コミュニケーション、注意事項、軽作業、概要説明 | 生徒同士での情報交換、コミュニケーション |
| 2 | 5月9日 | 講義・演習 | 舞台の業務内容、危険回避、事故例などを知り、理解する | 資料の整理、作成 |
| 3 | 5月16日 | 講義・演習 | 資料の作成、過去のイベントの資料整理や確認する | 資料の整理、作成 |
| 4 | 5月23日 | 講義・演習 | 外部ホールの予習、資料作り 舞台の基本を理解する | 資料の整理、作成 |
| 5 | 5月30日 | 講義・演習 | 外部ホール 実際の舞台機構を理解する | 工具や必要品の準備など |
| 6 | 6月6日 | 講義・演習 | 外部ホールの復習し、理解を深める | 課題の確認、不明点の確認など |
| 7 | 6月13日 | 講義・演習 | 外部ホールの課題を確認する | 工具や必要品の準備など |
| 8 | 6月20日 | 講義・演習 | 校内イベントを通して資料を制作する | 資料の整理、作成 |
| 9 | 6月27日 | 講義・演習 | 校内イベントの振り返りし、理解を深める | 課題の確認、不明点の確認など |
| 10 | 7月4日 | 講義・演習 | 外部ホールの予習、資料作り 舞台機構の応用を理解する | 資料の整理、作成 |
| 11 | 7月11日 | 講義・演習 | 外部ホール 実際の舞台での作業をする | 工具や必要品の準備など |
| 12 | 7月18日 | 講義・演習 | 外部ホールの課題確認をし、問題点をあげる | 課題の確認、不明点の確認など |
| 13 | 8月22日 | 講義・演習 | テスト | 課題の確認、不明点の確認など |
| 14 | 8月29日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台進行を学ぶ | レポート提出 |
| 15 | 9月5日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台進行を学ぶ | レポート提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 各週授業にのぞむための予習もしくは授業後の復習として取り組むこと | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|---------------|-------------------------------------|
| 科目名 | コンサートテクニック(4) Concert PA Technique (4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 西海英志 須藤浩 原嶋紘平 杉田達矢 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 150 (10単位) | |
| 教員の略歴 | PAエンジニア/オペレーターとして活動 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | イベントの1日の流れを把握し、他のセクションとコミュニケーションをとりながら音響だけではなく、他の動きも把握し、イベントによって異なる音響を学ぶ | | | | | |
| 到達目標 | 仕込み・RH・本番・バラシまでに1日の流れの把握・プラン表や当日までの資料作りが出来るようになる | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|-------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | 次週のシミュレーション・打ち合わせを行う | プラン作り・打ち合わせ |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | 野外イベントにおけるPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | バンドライブのPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | カラオケ音源のLIVE PAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | 仕込みプランの講評を行う | プラン作り・打ち合わせ |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | バンドライブのPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | 外部ホールでのバラシについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | オムニバス形式のライブPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | バンド課題楽曲に対するオペレート① オペ卓を触る | プラン作り・打ち合わせ |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | バンド課題楽曲に対するオペレート② モニター卓を触る | プラン作り・打ち合わせ |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | システムチェックについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | 外部ホールでのダンスPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | 外部ホールにてバンドPAについて理解する | プラン作り・打ち合わせ |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ | レポート提出 |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ | レポート提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|---------------|------|------|
| 科目名 | コンサートテクニック(4) Concert LT Technique(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 川谷祐之 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 150 (10単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台照明プランナー・オペレーターとして活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ただ自分の作りたい照明を作るのではなく、色々な立場に立って照明を作れるようにする | | | | | | |
| 到達目標 | 多くの観客が納得し、各イベントに合った照明を作れるようになる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-----------------------|------------------------------------|---------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | 前期までに学んだことをすべて盛り込んで照明を作る | 仕込み・譜割り・明り作り(企画イベント) |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | 曲に対する自分のイメージを明りで表現する | 仕込み・譜割り・明り作り(企画イベント) |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | 個性を盛り込んだショーパッケージを作る | 仕込み・譜割り・明り作り(企画イベント) |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | 観客の立場に立ってバンドの照明を作る | 課題曲に対する譜割り(プロミライブ) |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | 観客の立場に立ってアイドルの照明を作る | 課題曲に対する譜割り(SO.ON) |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | 他セクションと念密な打ち合わせをし理想のショーパッケージを作り上げる | 課題曲に対する譜割り(ワンマンライブRH) |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | 他セクションと念密な打ち合わせをし理想のショーパッケージを作り上げる | 仕込み図解読・明り作り(ワンマンライブ本番) |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | 観客の立場に立ってアニソンの照明を作る | 課題曲に対する譜割り(アクターライブ) |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | 観客の立場に立ってショーパッケージの照明を作る | 仕込み・譜割り・明り作り(We areプロミRH) |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | 自由に作った照明のダメ出し、作り直し・違いを体感 | 照明機材仕込み・打ち込み |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | 自由に作った照明のダメ出し、作り直し・違いを体感 | 照明機材仕込み・打ち込み |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | 観客の立場に立ってショーパッケージの照明を作る | 仕込み・譜割り・明り作り(We areプロミRH) |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | プロとして成立する照明を作る | 仕込み・譜割り・明り作り(アクター卒業公演) |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台照明を学ぶ | 仕込み・譜割り・明り作り(we are準備) |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台照明を学ぶ | 仕込み・譜割り・明り作り(we are準備) |
| 準備学習 時間外学習 | | 闇雲に仕込むのではなく、照明効果を意識する | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | コンサートテクニック(4) Concert STAGE Technique(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 井上陽介 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 90 (6単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台監督として活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 舞台制作、進行、演出、施工等を講義と実践的に学び、体験しそれぞれ自分の目的や適合性を考える。現場のシミュレーション体験を通じて社会のルールやマナー、チームワークや厳しさ、楽しさを学ぶ事を目指します。 | | | | | | |
| 到達目標 | 授業を通じて団体行動、情報収集、技術的な能力を身に付け、スキルアップを目指す。また細分化された業種の中から自分に何が合っているかを見つける。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|----------------------------------|--------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | 前期の復習 校内イベントに向けたチーム分け | 課題の確認、不明点の確認 |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | 校内イベント資料制作 工具を理解する | 工具や必要品の準備 |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | 校内イベント 実践的に学ぶ | 資料の整理、作成 |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | 校内イベントの振り返りをし問題点を理解する | 課題の確認、不明点の確認 |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | 外部ホール 実際の舞台機構を触る | 工具や必要品の準備 |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | 外部ホールの復習をし、想定される危険を理解する | 課題の確認、不明点の確認 |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | 校内イベントを通して資料制作を行う | 工具や必要品の準備 |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | 校内イベントを実践的に行い個々のレベルを知る | 資料の整理、作成 |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | 校内イベントの反省点をプレゼンテーションする | 課題の確認、不明点の確認 |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | ホール実習の予習、資料作り 舞台の基本を説明できるようにする | 資料の整理、作成 |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | 外部ホール 実際の舞台にて構造を理解する | 工具や必要品の準備など |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | 外部ホールの復習し、演出を考える | 課題の確認、不明点の確認など |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | テスト | 課題の確認、不明点の確認など |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台演出を学ぶ | レポート |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して舞台演出を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | 各週授業にのぞむための予習もしくは授業後の復習として取り組むこと | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | 照明概論(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 林之弘 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 照明実務経験40年、日本照明家協会1級技能士として活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける ②照明概論 ③現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。 | | | | | | |
| 到達目標 | 中間公演に向け、技術のスキルアップと後輩の指導 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|------------------------------|-------|-------|---------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 「安全に作業をするために」①が解答できる | レポート |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | 「安全に作業をするために」②が解答できる | レポート |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | 「舞台用語」照明関連の用語が解答できる | レポート |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | 「舞台用語」舞台関連の用語が解答できる | レポート |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | 「照明家に必要な基礎知識」 (電気について)が解答できる | レポート |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | 「照明家に必要な基礎知識」(光について)に解答できる | レポート |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | 「照明操作卓のシステム」に解答できる | レポート |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | ヴィジュアルライザーソフト①基本が理解できる | レポート |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | ヴィジュアルライザーソフト②作図できる | レポート |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | ヴィジュアルライザーソフト③パッチができる | レポート |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | 前期まとめ | レポート |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | 前期まとめテスト | レポート |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | ミュージカル公演の振り返り | レポート |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台照明を学ぶ | レポート |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して舞台照明を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | 教室外でも一人で進められる調査研究を時間外学習として進めます。 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 舞台・テレビジョン照明技術者 技能認定試験問題集《2級》 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | 照明概論(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 林之弘 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 照明実務経験40年、日本照明家協会1級技能士として活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける ②照明概論 ③現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。 | | | | | | |
| 到達目標 | 日本照明家協会技能認定2級試験合格 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|------------------------------|--------|-------|---------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | 照明機器①が解答できる | レポート |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | 照明機器②が解答できる | レポート |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | 「公演が行われる場の人たち」①が解答できる | レポート |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | 「公演が行われる場の人たち」②が解答できる | レポート |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | 「舞台機構と舞台照明設備」①が解答できる | レポート |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | 「舞台機構と舞台照明設備」②が解答できる | レポート |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | 「舞台における照明の仕事」①が解答できる | レポート |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 「舞台における照明の仕事」②が解答できる | レポート |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | 仮設システムを使った照明の仕事①が解答できる | レポート |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | 仮設システムを使った照明の仕事②が解答できる | レポート |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | 後期まとめ授業 | レポート |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | 技能認定試験を受ける | レポート |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | 照明実務/We Are TSM!に向けて | レポート |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM!)を通して舞台照明を学ぶ | レポート |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM!)を通して舞台照明を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | 教室外でも一人で進められる調査研究を時間外学習として進めます。 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 舞台・テレビジョン照明技術者 技能認定試験問題集《2級》 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | VectorWorks Advance(3) LT Basic(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 矢吹百合子 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台美術デザイナー コンサートのセットデザインを中心に活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に付けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。 | | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ■ Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■ 平面図を書けるようになる ■ 測量したものをコンピュータで図面化出来る ■ 劇場設備について理解出来るようになる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | 自己紹介～Vectorworksの仕組み・システムの解説から使用方法を理解する | 図面作成/レポート |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | 使用ソフトの基本説明を行い基本の操作方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | 2Dシミュレーションの基本(1) 2Dシミュレーションの基礎の作図方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | 学園祭図面作成(1) 会場測量を行い実物と縮尺の違いを学ぶ | 図面作成/レポート |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | 学園祭図面作成(2) 測量した会場の作図を行う舞台のツールを学ぶ | 図面作成/レポート |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | 学園祭図面作成(3) 測量した会場の作図を行うステージ・バトンの書き方を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | 劇場の図面作成(1) 劇場の設備を理解する | 図面作成/レポート |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | 劇場の図面作成(2) 実際の劇場図面を作図し劇場機構の仕組みを学ぶ | 図面作成/レポート |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | 製作物のデザインと図面作成(1) 平面図を書く事ができる | 図面作成/レポート |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | 製作物のデザインと図面作成(2) セットデザインを実際の劇場に当て込み検証し理解する | 図面作成/レポート |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | 図面作成(1) ミュージカルの舞台図面を書き起こす | 図面作成/レポート |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | 図面作成(2) ミュージカルの舞台図面を作図する | 図面作成/レポート |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | 図面作成(3) 舞台図面を仕込み図に変換する方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通して作図を学ぶ | レポート |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通して作図を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 適宜資料を配布 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | VectorWorks Advance(3) STAGE Basic(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 矢吹百合子 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台美術デザイナー コンサートのセットデザインを中心に活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に付けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。 | | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ■ Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■ 平面図を書けるようになる ■ 測量したものをコンピュータで図面化出来る ■ 劇場設備について理解出来るようになる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | 自己紹介～Vectorworksの仕組み・システムの解説から使用方法を理解する | 図面作成/レポート |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | 使用ソフトの基本説明を行い基本の操作方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | 2Dシミュレーションの基本(1) 2Dシミュレーションの基礎の作図方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | 学園祭図面作成(1) 会場測量を行い実物と縮尺の違いを学ぶ | 図面作成/レポート |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | 学園祭図面作成(2) 測量した会場の作図を行う舞台のツールを学ぶ | 図面作成/レポート |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | 学園祭図面作成(3) 測量した会場の作図を行うステージ・バトンの書き方を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | 劇場の図面作成(1) 劇場の設備を理解する | 図面作成/レポート |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | 劇場の図面作成(2) 実際の劇場図面を作図し劇場機構の仕組みを学ぶ | 図面作成/レポート |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | 製作物のデザインと図面作成(1) 平面図を書く事ができる | 図面作成/レポート |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | 製作物のデザインと図面作成(2) セットデザインを実際の劇場に当て込み検証し理解する | 図面作成/レポート |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | 図面作成(1) ミュージカルの舞台図面を書き起こす | 図面作成/レポート |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | 図面作成(2) ミュージカルの舞台図面を作図する | 図面作成/レポート |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | 図面作成(3) 舞台図面を仕込み図に変換する方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通して作図を学ぶ | レポート |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通して作図を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 適宜資料を配布 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | VectorWorks Advance(4) LT Advance(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 矢吹百合子 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台美術デザイナー コンサートのセットデザインを中心に活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に付けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。 | | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ■ Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■ 平面図を書けるようになる ■ 測量したものをコンピュータで図面化出来る ■ 劇場設備について理解出来るようになる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|---|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | ハロウインの装飾デザイン(1) ハロウイン装飾のデザインを考案する | 図面作成/レポート |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | ハロウインの装飾デザイン(2) ハロウイン装飾の作図し模擬コンペを行う | 図面作成/レポート |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | 3Dシミュレーションの基本(2) 3Dへの変換方法を学び実際に図面を作成する | 図面作成/レポート |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | 3Dシミュレーションのまとめ(1)3Dの見え方を学ぶ 光源による見え方の違いを理解する | 図面作成/レポート |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | 劇場の3D作成(1) 実際の劇場を2Dから3Dに立ち上げる方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | 劇場の3D作成(2) 3D変換された図面の検証方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | 劇場の3D作成(3) 検証結果を基に総合的なイメージを作る | 図面作成/レポート |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | 3Dシミュレーションのまとめ(2) テクスチャ設定を行い説得力のあるレンダリング結果を得る方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | クリスマスの装飾デザイン(1) 2Dでデザインと設計図を作る方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | クリスマスの装飾デザイン(2) 2D→3Dモデリングの編集方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | We are TSMに向けて 装飾デザイン プレゼンボードの作成方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | We are TSMに向けて 図面作成(1) 実際にイベントで使用する劇場の平面図を作図する。 | 図面作成/レポート |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | We are TSMに向けて 図面作成(2) 実際にイベントで使用する仕込み図面を作図する。 | 図面作成/レポート |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して作画を学ぶ | レポート |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して作画を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 適宜資料を配布 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | VectorWorks Advance(4) STAGE Advance(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 矢吹百合子 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台美術デザイナー コンサートのセットデザインを中心に活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に付けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。 | | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ■ Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■ 平面図を書けるようになる ■ 測量したものをコンピュータで図面化出来る ■ 劇場設備について理解出来るようになる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|---|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | ハロウインの装飾デザイン(1) ハロウイン装飾のデザインを考案する | 図面作成/レポート |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | ハロウインの装飾デザイン(2) ハロウイン装飾の作図し模擬コンペを行う | 図面作成/レポート |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | 3Dシミュレーションの基本(2) 3Dへの変換方法を学び実際に図面を作成する | 図面作成/レポート |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | 3Dシミュレーションのまとめ(1)3Dの見え方を学ぶ 光源による見え方の違いを理解する | 図面作成/レポート |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | 劇場の3D作成(1) 実際の劇場を2Dから3Dに立ち上げる方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | 劇場の3D作成(2) 3D変換された図面の検証方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | 劇場の3D作成(3) 検証結果を基に総合的なイメージを作る | 図面作成/レポート |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | 3Dシミュレーションのまとめ(2) テクスチャ設定を行い説得力のあるレンダリング結果を得る方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | クリスマスの装飾デザイン(1) 2Dでデザインと設計図を作る方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | クリスマスの装飾デザイン(2) 2D→3Dモデリングの編集方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | We are TSMに向けて 装飾デザイン プレゼンボードの作成方法を学ぶ | 図面作成/レポート |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | We are TSMに向けて 図面作成(1) 実際にイベントで使用する劇場の平面図を作図する。 | 図面作成/レポート |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | We are TSMに向けて 図面作成(2) 実際にイベントで使用する仕込み図面を作図する。 | 図面作成/レポート |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して作画を学ぶ | レポート |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践(we are TSM)を通して作画を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 適宜資料を配布 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Advance ムービング(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 橋本真也 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 現代に於いて必須とも言えるムービングライト、その特性と機能を学ぶ。□ | | | | | | |
| 到達目標 | 仕込みに応じて、パッチの変更、設定が出来るようにする。 エフェクトを利用した、様々なシーンの作成。 細かな機能を覚えることにより、スムーズにシーンの作成、修正ができるようにする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | 1年次の復習を行う | レポート□ |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | パッチ、ステージセットアップ、パンチルト設定を学ぶ | レポート□ |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | パッチ、アトリビュート設定関連、マクロを学ぶ | レポート□ |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | SHOW作成を一人ずつ行う | レポート□ |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | メンテナンス、ムービング本体設定を学ぶ | レポート□ |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | エフェクト応用を学ぶ | レポート□ |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | プリセットフィルター、アップデートオプション、ストアオプションの実習 | レポート□ |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | 小復習 | レポート□ |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | ATコピー、マスター関連、フリーズの実習 | レポート□ |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | アトリビュートタイム、ディレイを学ぶ | レポート□ |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | MA1について学ぶ | レポート□ |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | GrandMA3D SHOW作成の実習 | レポート□ |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | テスト、SHOW作成関連の実習 | レポート□ |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通してムービングの効果的使用方法を学ぶ | レポート□ |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通してムービングの効果的使用方法を学ぶ | レポート□ |
| 準備学習 時間外学習 | | | 基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Advanceムービング(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 橋本真也 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 現代に於いて必須とも言えるムービングライト、その特性と機能を学ぶ。 | | | | | | |
| 到達目標 | 各種機能への理解を深め、ビジュアライザーを使い、多い台数への対応。 明かりのバランス、シーンの構成を考慮し、ムービングライトを使用するポイントを考える。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|---|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | 前期復習、明かりのバランスを考える | レポート□ |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | ビジュアライザーを使ってマトリックスなどの実習 | レポート□ |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | フィクスチャーデータ作成を行う | レポート□ |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | 仕込みに関して学ぶ | レポート□ |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | DMXin, リモートコントロールを学ぶ | レポート□ |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | アリーナ、パール、onPCを学ぶ | レポート□ |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | セットアップに関して詳しく学ぶ | レポート□ |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | 小復習 | レポート□ |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | MA31について学ぶ | レポート□ |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | 復習 | レポート□ |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | 課題明かり作りの実践 | ディスカッション |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | 課題明かり作りの実践 | ディスカッション |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | テスト、明かり作りの実践 | ディスカッション |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM!)を通して効果的使用方法を学ぶ | レポート□ |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM!)を通して効果的使用方法を学ぶ | レポート□ |
| 準備学習 時間外学習 | | | 基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Repair Advance(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 志村昭三 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ロックギターリストとして生活を送り、リペア・ギターテクニシャンとして活動する | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | リペアマンになる為の動作・対応力・技術力・センスを得る実技をおこなう | | | | | | |
| 到達目標 | エレトリックギターやエレトリックベース等の音が出る仕組みを理解し、ギターサウンドナイキングやボディ形状やヘッド形状のデザインを行える技術を習得。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | アッセンブリ・バラシ・組立について理解する | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | アッセンブリ・バラシ・組立ての実践 | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | PV交換① | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | PV交換② | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | ポット交換① | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | ポット交換② | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | ジャック交換① | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | ジャック交換② | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | PG作業① | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | PG作業② | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | PG作業③ | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | PG作業④ | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | PG作業⑤/前期テスト | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して演奏を学ぶ | レポート提出 |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通して演奏を学ぶ | レポート提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 弦楽器の仕組みを知り、部品について学ぶ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Repair Advance(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 志村昭三 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ロックギターリストとして生活を送り、リペア・ギターテクニシャンとして活動する | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | エレキギター・アコースティックギター・エレキベース、その他の弦楽器に対して何らかのをほどこす事により、よりよい状態にもっていくその技術とノウハウを学習する | | | | | | |
| 到達目標 | リペアならびにセットアップ・ギターテクニシャンになるためのスキルを身に付けさせ、自身の技術力を自分で引き上げてゆくやり方を理解させ応用してゆく追求心をつける。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|-----------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | ナット交換の為の予備知識の理解 | 前期の復習 |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | フレット&ネット交換① | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | フレット&ネット交換② | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | フレット&ネット交換③ | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | フレット&ネット交換④ | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | フレット&ネット交換⑤ | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | フレット&ネット交換⑥ | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | フレット&ネット交換⑥ | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | フレット&ネット交換⑦ | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | フレット&ネット交換⑧ | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | フレット&ネット交換⑨ | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | 組み込み完了 | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | 後期試験 | MY楽器及びリペア楽器持参 |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM)を通してリペアマンの現場を学ぶ | レポート |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践(We are TSM)を通してリペアマンの現場を学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | 前期で学んだ事を生かし、自分の持っている楽器をリペアしてみる | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | 楽器/機材知識(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 北英樹 |
| 学科・コース | 音楽テクノロジー科2年制(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 舞台監督・楽器テクニシャンとして活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ①様々な楽器の基礎知識について理解する ②音楽が存在する科目全てに関連している ③音楽業界に於いて最低限必要な楽器に関する知識を 1年生時に学んだ事を基本として 更に詳しい知識を習得し将来の即戦力につなげる | | | | | | |
| 到達目標 | 音楽業界に就職する上で必ず必要になる楽器の知識を身につけ、細部にわたる機材の名称 構造 等を身につけ、答えられるようになる。楽器は大切に愛情を持って丁寧うことができる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---------------------------|-------|-------|--|--------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月19日 | 講義・演習 | セット図作成方法機材リスト作成方法について理解する□ | セッティング図 機材リストについて1年時の資料を調べる |
| 2 | 5月10日 | 講義・演習 | 譜面とは何かを知り確実に理解して扱う事 について理解する | 譜面について調べる |
| 3 | 5月17日 | 講義・演習 | DRUMSに関する事を再度理解する | DRUMSに関する 1年時の授業内容の復習 |
| 4 | 5月24日 | 講義・演習 | 電子打楽器に関する事を理解する | 電子打楽器について調べる |
| 5 | 5月31日 | 講義・演習 | MIDI システム に関する事を理解する | MIDIについて調べる |
| 6 | 6月7日 | 講義・演習 | KEYBOARDに関する事を再度理解する | KEYBOARDに関する 1年時の授業内容の復習 |
| 7 | 6月14日 | 講義・演習 | KEYBOARDに関する事を再度理解する | KEYBOARDに関する 1年時の授業内容の復習 |
| 8 | 6月21日 | 講義・演習 | PIANO に関する事を再度理解する | PIANOに関する 1年時の授業内容の復習 |
| 9 | 6月28日 | 講義・演習 | ギター・ベースに関する事を再度理解する | ギター ベースに関する 1年時の授業内容の復習 |
| 10 | 7月5日 | 講義・演習 | アンプに関する事を再度理解する | アンプに関する 1年時の授業内容の復習 |
| 11 | 7月12日 | 講義・演習 | 弦楽器に関する事を再度理解する | 弦楽器に関する 1年時の授業内容の復習 |
| 12 | 7月19日 | 講義・演習 | 楽器全てに関する事を再度理解する | 全ての授業内容の復習 |
| 13 | 8月23日 | 講義・演習 | 前期テスト 実技及び筆記 | レポート |
| 14 | 8月30日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通してテックを学ぶ | レポート |
| 15 | 9月6日 | 講義・演習 | イベント実践(明日への扉)を通してテックを学ぶ | レポート |
| 準備学習 時間外学習 | | | 準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 教材 学内に有る 全ての 楽器を使用して授業を行う | | | | |